

〈表題〉

日本政府に、「核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書」を
提出することを求める陳情

〈趣旨〉

日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）は昨年、被爆者の実相を世界に広げ、核兵器禁止条約へのうねりをつくり出してきた活動が認められてノーベル平和賞を受賞しました。

いま、核戦争の恐怖が世界をおおう国際情勢のもとで日本被団協の受賞は、世界の人々に大きな希望となりました。

核兵器がどんな悲惨な状況をもたらし、なぜ廃止をしなければならないのか。改めて実感させられました。核兵器は人類が作ったものである以上、人類の英知によって廃絶できます。

広島・長崎に、アメリカによる原爆投下から今年で80年になります。

2017年7月7日に122カ国の賛同を得て「核兵器禁止条約」が制定されました。2021年1月22日、核兵器禁止条約が発効しました。現在、核兵器禁止条約に94カ国が署名、73カ国が批准しています。

いま求められているのは、何よりも日本が核兵器禁止条約に参加する年にしなければいけないと思います。それが被爆80年にふさわしい、日本の行動です。

唯一の戦争被爆国である日本政府に、核兵器の禁止・廃絶へ世界をリードすることを求めます。

「核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書」を決議した自治体は、昨年12月現在で696自治体になりました。

青梅市議会において、日本政府に「核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書」を提出することを陳情いたします。

令和7年2月 4 日

陳情者住所
陳情者氏名
所属団体名



青梅市議会議長 島崎 実 殿

